

2025年8月21日

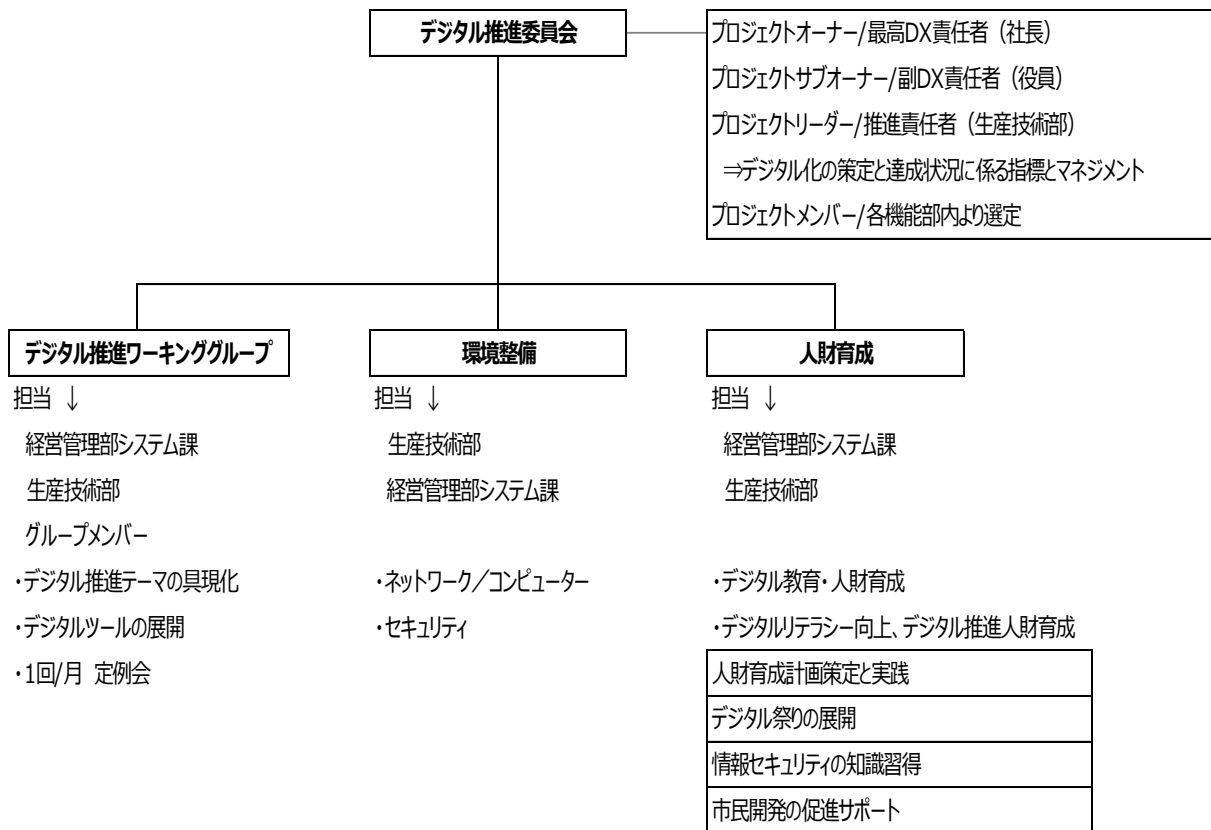
株式会社ジェイテクトプレジジョンベアリング

DX（デジタル化）推進に向けた体制公表

デジタル推進委員会

当社は、軸受製造業としての技術力と経験を礎に、製造業の未来を切り拓くためのデジタル変革に取り組んでいます。急速に進化する市場環境や顧客ニーズに柔軟かつ迅速に対応するため、DX（デジタルトランスフォーメーション）を経営の重要課題と位置づけ、下記のとおり全社的な推進体制を構築しました。DX認定制度の取得に向け、持続可能な成長と価値創造を目指してまいります。

◆推進体制



DX（デジタル化）推進に向けた活動 ◇事例紹介◇

DX推進においては、現場の知見と創意工夫が何よりも重要です。当社では、部門横断型のワーキンググループを立ち上げ、現場起点での課題解決や業務改善に取り組んでいます。ここでは、DX認定取得に向けた取り組みの一環として、実際に進行中のプロジェクト事例をご紹介します。

ワーキンググループの取組み

【RFIDを活用しての固定資産管理】

機械設備の管理用銘板をICタグにし、RFIDを活用

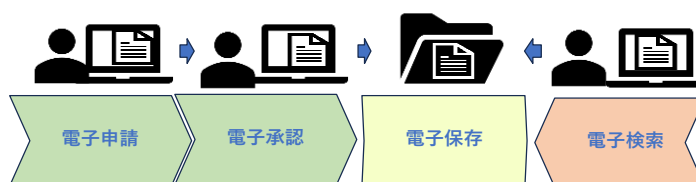
- ・棚卸作業時間が大幅に短縮
- ・棚卸結果をデジタルデータで送信するため、紛失リスク解消
- ・紙の回覧にかかっていた時間も削減し、情報共有がスピーディーに
- ・データ管理により不正や誤登録の防止が強化
- ・管理の信頼性が格段に向上



【社内デジタルワークフローシステムの導入】

業務における申請～承認業務にデジタルワークフローシステムを導入

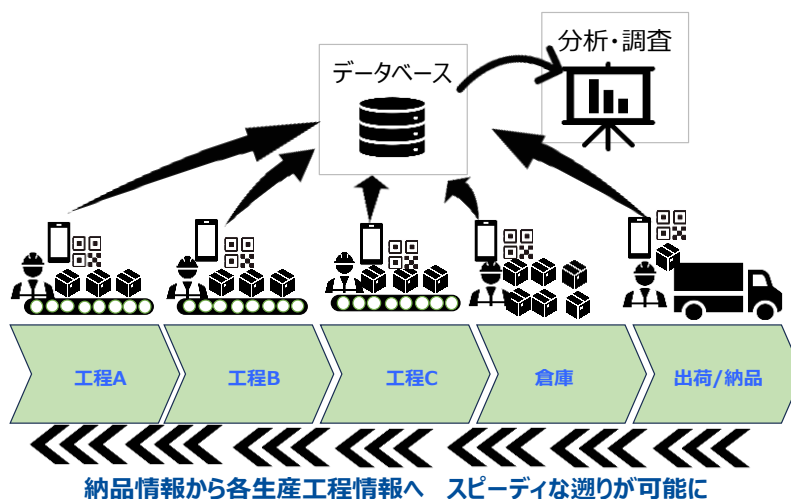
- ・申請から文書保管までをデジタル化し、ペーパーレス化
- ・承認スピード
- ・承認状況の可視化
- ・保存文書の検索性アップ
- ・承認済み文書の保管スペースの有効利用



【生産工程トレサビリティ強化】

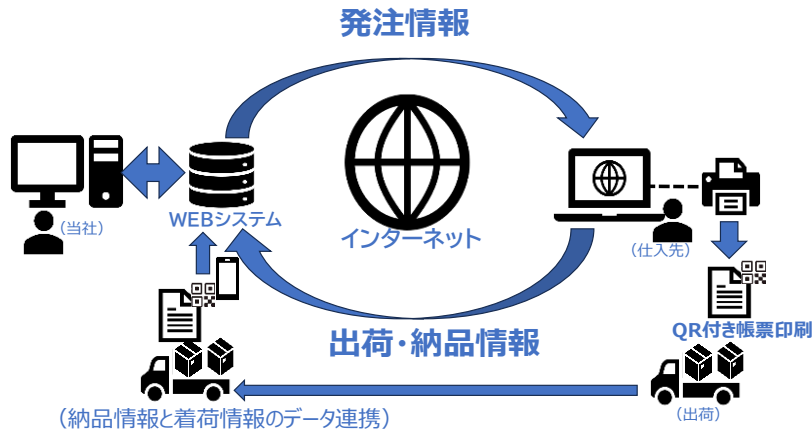
各生産工程流動 ⇒ 入庫 ⇒ 出荷までの情報をQRコードの読み取りによりデータベース化し一元管理化

- ・各工程情報の追跡、遡り調査・分析が正確かつスピーディーに実施可能に
- ・各工程の流動型番がリアルタイムで管理可能に



【材料・資材発注のWEBシステムの仕入先展開】

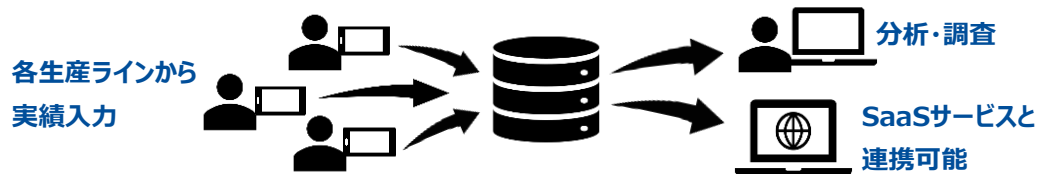
WEBシステムを活用し発注・納品情報をリアルタイムで材料・資材の仕入先と共有
・納品、着荷情報をデータ連携し発注、検収業務を効率化



【生産管理板のデジタル化】

生産管理板を紙からタブレットに切り替え、手書きデータをデジタル化

- ・ライン内でのタブレット入力により、リアルタイムにクラウドへデータをアップロード可能
- ・データが即時共有され、管理者・関係者間でタイムラグのない判断が可能
- ・データの転記作業が不要となり、工数大幅削減
- ・手書きや手入力に伴うヒューマンエラーを抑え、データの正確性が向上
- ・過去の実績データを簡単に検索・分析できるようになる
- ・紙の保管、回収、整理が不要となり、管理コストとスペース削減



JTEKT